

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「フランクリン・templトン 米国政府証券ファンド（愛称：メイフラワー号）」は2025年3月17日に第275期の決算を行いました。当ファンドは、フランクリン・templトン 米国政府証券マザーファンドへの投資を通じて、フランクリン・templトン・グループが運用する複数の外国籍ファンドに投資することにより、実質的に米国ジニーメイ・パス・スルー証券等の米国高格付け証券に投資を行います。当作成期におきましても、それに沿った運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

第275期末(2025年3月17日)	
基準価額	8,768円
純資産総額	14,059百万円
第270期～第275期	
騰落率	3.3%
分配金(税込み)合計	54円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

フランクリン・templトン 米国政府証券ファンド (愛称:メイフラワー号)

追加型投信／海外／債券

交付運用報告書

第270期(決算日2024年10月15日)
第271期(決算日2024年11月15日)
第272期(決算日2024年12月16日)
第273期(決算日2025年1月15日)
第274期(決算日2025年2月17日)
第275期(決算日2025年3月17日)

作成対象期間：2024年9月18日～2025年3月17日



FRANKLIN
TEMPLETON

フランクリン・templトン・ジャパン株式会社

東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

<お問い合わせ先>

電話番号：03-5219-5947
(営業日の9:00～17:00)

ホームページ：https://www.franklintempleton.co.jp

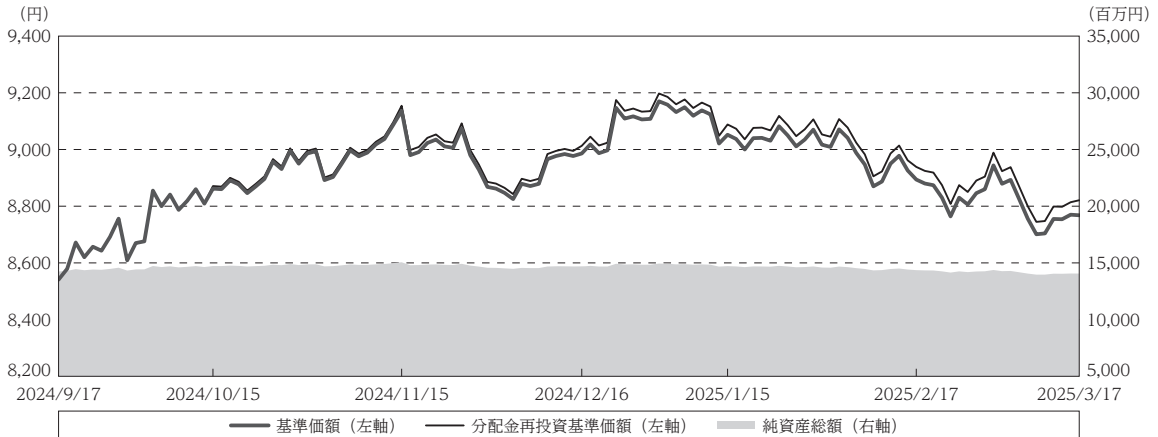
お客様の口座内容などに関するお問い合わせは、お申込みされた販売会社までお願い申し上げます。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。上記<お問い合わせ先>ホームページの「ファンド一覧」から当ファンドのファンド名称を選択することにより、当ファンドの詳細ページにおいて「資料・レポート」の中から運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。
- 運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付を請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2024年9月18日～2025年3月17日)



第270期首：8,541円

第275期末：8,768円 (既払分配金(税込み):54円)

騰落率：3.3% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2024年9月17日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドがマザーファンドを通じて投資を行う投資対象ファンドは、特定のベンチマークを上回ることを目指して運用するものではありません。したがって、当ファンドもベンチマークを設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

「フランクリン・テンプルトン 米国政府証券マザーファンド」(以下、「マザーファンド」)を通じて投資した投資対象ファンドの分配金再投資基準価額は下落しました。また、米ドルが対円で上昇したため、当ファンドの分配金再投資基準価額は上昇しました。詳しくは後掲の「**■投資環境**」をご参照ください。

なお、投資対象ファンドの主な変動要因は以下の通りです。

- ・投資を行っている米国高格付け証券(ジニーメイ・パス・スルー証券等)からのインカム
- ・投資を行っている米国高格付け証券(ジニーメイ・パス・スルー証券等)の価格変動

1 万口当たりの費用明細

(2024年9月18日～2025年3月17日)

項 目	第270期～第275期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	34	0.382	(a) 信託報酬 = [作成期間の平均基準価額] × 信託報酬率
(投 信 会 社)	(13)	(0.142)	ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、開示資料作成等の対価
(販 売 会 社)	(19)	(0.218)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.022)	ファンドの運用財産の保管・管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.003	(b) その他費用 = $\frac{[\text{作成期間のその他費用}]}{[\text{作成期間の平均受益権口数}]}$
(保 管 費 用)	(0)	(0.000)	その他費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	34	0.385	
作成期間の平均基準価額は、8,916円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。各項目の費用は、マザーファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」等が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要<ご参考>」に表示しております。

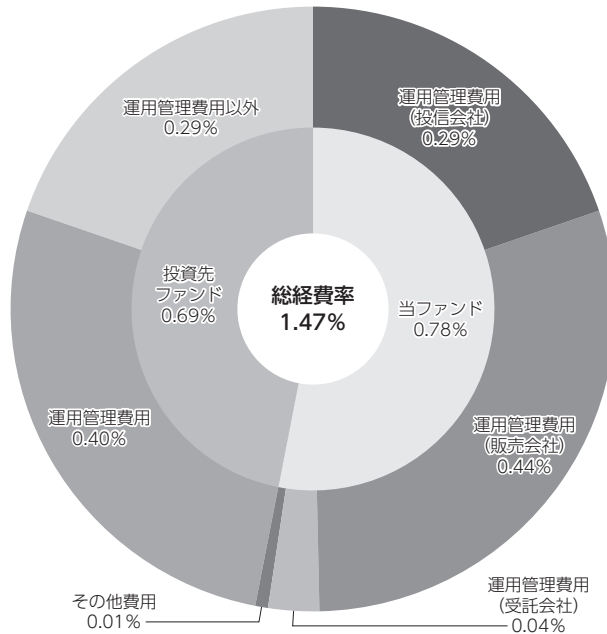
(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.47%です。



(単位:%)

総経費率(①+②+③)	1.47
①当ファンドの費用の比率	0.78
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.40
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.29

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドのマザーファンドが組入れている投資信託証券です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2020年3月16日～2025年3月17日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2020年3月16日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2020年3月16日 決算日	2021年3月15日 決算日	2022年3月15日 決算日	2023年3月15日 決算日	2024年3月15日 決算日	2025年3月17日 決算日
基準価額 (円)	7,189	7,297	7,435	7,819	8,561	8,768
期間分配金合計(税込み) (円)	—	124	108	108	108	108
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	3.3	3.4	6.6	10.9	3.7
純資産総額 (百万円)	19,087	17,920	16,152	14,765	14,982	14,059

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、フランクリン・テンプルトン・グループが運用する複数の外国籍ファンドに投資します。ファンドの収益率を測る適切なインデックスが存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

投資環境

(2024年9月18日～2025年3月17日)

(米国金利とジニーメイ・パス・スルー証券市場)

米国債券市場では、利回りは上昇（価格は下落）しました。

期の前半は、2024年9月の米連邦公開市場委員会（FOMC）で市場予想通り大幅な利下げが決定されたものの、パウエル米連邦準備制度理事会（FRB）議長の発言が想定よりもタカ派寄りであったとの見方もあり、FOMC後には利回りが上昇しました。また、11月には米国大統領選挙で共和党のトランプ氏が勝利し、連邦議会選挙で共和党が上下院で過半数を占めることが確実となったため、経済政策の転換が財政赤字拡大やインフレ高進につながるとの見方が強まると、利回りは一段と上昇しました。

期の半ばは、トランプ次期米大統領が著名投資家ベッセント氏を財務長官に指名したことを受け、米国の財政赤字が急増するとの懸念が和らいだことから、利回りは一時低下（価格は上昇）しました。しかし、その後は12月のFOMCで大方の予想通り0.25%の利下げが決定されたものの、政策金利の見通しで2025年に見込む利下げ回数減少が示され、当局者らが金融緩和ペースに対して慎重姿勢を強めていることが示唆されたことから、利回りは再び上昇しました。

期の後半は、米消費者物価指数（CPI）のコア指数の伸びが市場予想を下回ったことや、ウォラーFRB理事が予想よりも速いペースで利下げする可能性が高まるとの見方を示したことから、利回りは低下しました。また、米消費者信頼感指数（CCI）が2021年8月以来の大幅な落ち込みを記録したことも、利回りの低下要因となりました。

当作成期、ジニーメイ・パス・スルー証券の利回りは上昇しました。住宅ローン金利の主要な指標金利のひとつであるフレディマック30年（固定）金利は上昇しました。一方、住宅ローンの借り換え指数は低下しました。

(外国為替市場)

当作成期の米ドル・円相場は、米ドル高・円安となりました。

期の前半は、2024年9月のFOMCで市場予想通り大幅な利下げが決定されましたが、パウエルFRB議長の発言がタカ派寄りを受け取られたため、FOMC後は米ドル買い・円売りが優勢となりました。また11月には、米国大統領選挙を経て共和党が大統領職と上下両院を握る「トリプルレッド」を達成することとなり、次期政権下でのインフレ高進などが意識されたため、米ドル高・円安が一段と進みました。

期の半ばは、東京都区部CPIが市場予想を上回ったことで、12月に日銀が利上げに踏み切るのではないかとの思惑が強まったため、米ドル安・円高に転じました。しかし、その後はFRBがFOMCで大方の予想通り利下げを実施したものの、政策金利の見通しで利下げペースの鈍化を示唆したことに加え、日銀が金融政策決定会合で政策金利を据え置き、利上げを見送る方針を決定したことから、タカ派寄りのFRBとハト派寄りの日銀の対比が意識され、米ドル高・円安が再び進行しました。

期の後半は、日銀が2025年1月の金融政策決定会合で利上げをするとの期待が市場で高まるなか、実際に利上げを決定したことや、日本の毎月勤労統計調査で名目賃金の伸び率が市場予想を上回ったことなどから、日銀による利上げ継続期待が高まり、米ドル安・円高が優勢となりました。また、CCIなど軟調な米国の経済指標も、米ドル安・円高の要因となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2024年9月18日～2025年3月17日)

(フランクリン・テンプレトン 米国政府証券ファンド (愛称:メイフラワー号))

運用の基本方針にもとづき、フランクリン・テンプレトン 米国政府証券マザーファンドへの投資を通じて、「フランクリン・テンプレトン U.S.ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンド (バミューダ籍投資法人)」および「フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンズ-フランクリン U.S.ガバメント・ファンド (ルクセンブルク籍投資法人)」に投資を行いました。

当ファンドでは、当作成期を通じてマザーファンドの組入れを高位に維持しました。マザーファンドにおける当作成期末の投資対象ファンドの組入比率は、「フランクリン・テンプレトン U.S.ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンド (バミューダ籍投資法人)」が約7割、「フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンズ-フランクリン U.S.ガバメント・ファンド (ルクセンブルク籍投資法人)」が約3割となりました。

(フランクリン・テンプレトン 米国政府証券マザーファンドの投資対象ファンド)

当作成期も、独自の分析手法を用いて、証券価格が割安に推移していると判断されるジニーメイ・パス・スルー証券に着目して、慎重な運用を行いました。組入銘柄の選定においては担保資産の分析に加え、期限前償還リスクを考慮し、相対的に魅力ある証券を組み入れました。クーポン別では、2.0%～6.0%のクーポンを持つ証券を中心に組み入れました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2024年9月18日～2025年3月17日)

当ファンドはベンチマークや参考指数を設けていないため、本項目は記載しておりません。

分配金

(2024年9月18日～2025年3月17日)

当ファンドは、当作成期中の毎決算時に配当等収益を中心に以下の収益分配を行いました。なお、留保された収益の運用につきましては、特に制限を設けず元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項目	第270期	第271期	第272期	第273期	第274期	第275期
	2024年9月18日～ 2024年10月15日	2024年10月16日～ 2024年11月15日	2024年11月16日～ 2024年12月16日	2024年12月17日～ 2025年1月15日	2025年1月16日～ 2025年2月17日	2025年2月18日～ 2025年3月17日
当期分配金	9	9	9	9	9	9
(対基準価額比率)	0.101%	0.098%	0.100%	0.099%	0.101%	0.103%
当期の収益	9	9	9	9	9	9
当期の収益以外	-	-	-	-	-	-
翌期繰越分配対象額	1,766	1,782	1,793	1,808	1,818	1,828

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

(フランクリン・テンプレートン 米国政府証券ファンド (愛称：メイフラワー号))

当ファンドは、「運用の基本方針」に基づき、引き続きフランクリン・テンプレートン 米国政府証券マザーファンドへの投資を通じて、主に「フランクリン・テンプレートン U.S.ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンド (バミューダ籍投資法人)」、「フランクリン・テンプレートン・インベストメント・ファンズ-フランクリン U.S.ガバメント・ファンド (ルクセンブルク籍投資法人)」に投資を行う方針です。「フランクリン U.S.ガバメント・セキュリティーズ・ファンド (米国籍投資法人)」への配分は分配金水準や資金フローなどを総合的に勘案して判断する予定です。

(フランクリン・テンプレートン 米国政府証券マザーファンドの投資対象ファンド)

運用チームは米国の規制緩和と減税の進展に注目しており、これらは持続的に力強い成長見通しの鍵となる2つの分野だと考えています。全体として、米新政権は経済成長を促進する方向に進んでいるとみています。経済活動は総じて底堅く推移しており、労働市場も健全です。関税が成長に与える潜在的な悪影響についての懸念は理解できますが、米国経済は大規模かつ閉鎖的であることから、貿易が経済成長に与える影響は限られているため、その影響は誇張されるべきではありません。また、2025年はFRBの目標を上回るインフレ率が持続し、年末までに米10年国債利回りは4.75%から5%のレンジ内で推移すると予想しています。規制緩和の流れが鈍化すれば、利回りは想定レンジの下限にとどまると思われますが、財政赤字がさらに拡大すれば、利回りは5%を超える可能性があります。

運用チームでは、ファンダメンタルズ、テクニカルともに良好な見通しであるため、当面エージェンシーMBSは堅調に推移するとみています。ファンダメンタルズについては、期限前返済リスクは歴史的に見て低い水準にあり、住宅ローンの信用力は最高水準に近い状況です。テクニカル面では、銀行からの需要は引き続き高く、エージェンシーMBSを担保とする不動産抵当証券担保債券(CMO)の需要も堅調です。また、スプレッドは投資適格社債と比較して依然として魅力的だとみています。

ジニーメイ・パス・スルー証券は米国政府が元利金の期日通りの支払いを保証する住宅ローン担保証券であり、実質的に米国国債と同等の信用力を有すると考えられています。上記の投資環境の下において、より有利な投資機会の発掘のために同証券を構成する住宅ローンに対する精査を徹底してまいります。慎重かつ規律正しい投資アプローチにより、期限前償還リスクを適切に評価し、投資対象証券の本来の価値と市場価値との乖離を特定することで、より投資妙味のある証券への投資を行う方針です。

お知らせ

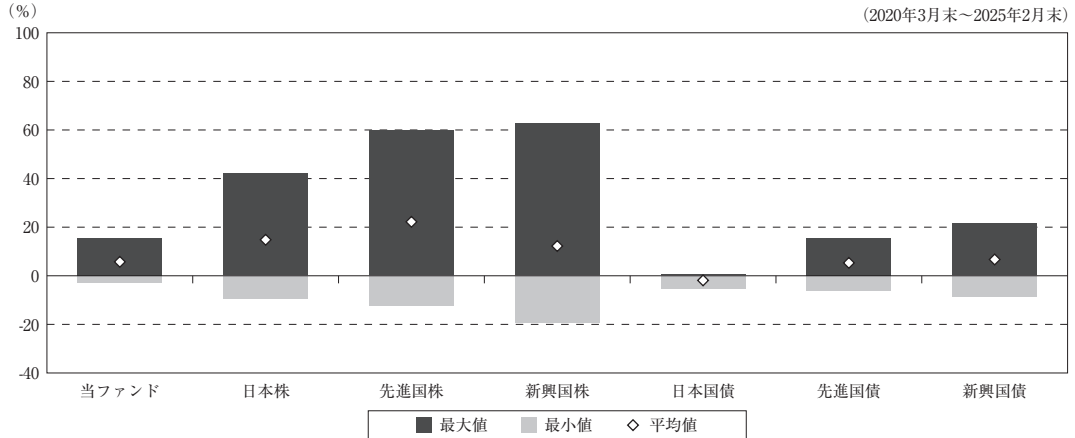
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（2002年3月26日設定）	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定的な収益確保を図ることを目指してファンド・オブ・ファンズ形式で運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	フランクリン・テンプレトン 米国政府証券マザーファンド受益証券
	フランクリン・テンプレトン 米国政府証券マザーファンド	<ul style="list-style-type: none"> ・フランクリン U.S.ガバメント・セキュリティーズ・ファンド（米国籍投資法人） ・フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンズーフランクリン U.S.ガバメント・ファンド（ルクセンブルク籍投資法人） ・フランクリン・テンプレトン U.S.ガバメント・セキュリティーズII・ファンド（バミューダ籍投資法人）
運用方法	主としてフランクリン・テンプレトン 米国政府証券マザーファンド受益証券への投資を通じて、米国ジニーメイ・パス・スルー証券（政府抵当金庫パス・スルー証券）等の米国高格付け証券に実質的な投資を行います。フランクリン・テンプレトン 米国政府証券マザーファンド受益証券の組入れは高位を維持することを基本とします。	
分配方針	毎月15日（ただし、15日が休業日のときは翌営業日とします。）に決算を行い、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②分配金額は、委託者が配当等収益を中心に基準価額水準等を勘案して決定します。 ③留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	15.5	42.1	59.8	62.7	0.6	15.3	21.5
最小値	△ 2.7	△ 9.5	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	5.7	14.8	22.2	12.2	△ 1.9	5.3	6.7

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2020年3月から2025年2月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

(※) 各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・デバースファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

○代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

NOMURA-BPI 国債

NOMURA-BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLC に帰属します。

JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLC に帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

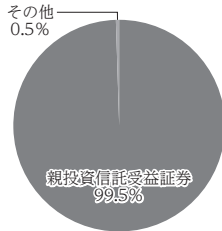
(2025年3月17日現在)

○組入上位ファンド

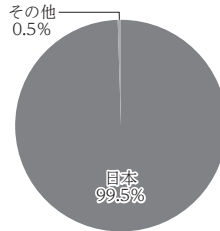
銘 柄 名	第275期末
	%
フランクリン・templton 米国政府証券マザーファンド	99.5
組入銘柄数	1銘柄

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

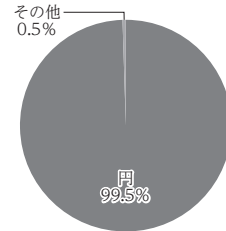
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

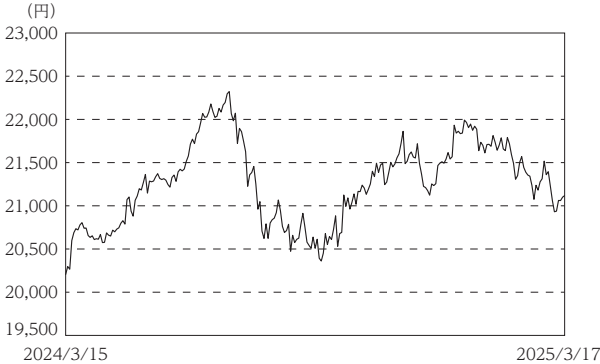
項 目	第270期末	第271期末	第272期末	第273期末	第274期末	第275期末
	2024年10月15日	2024年11月15日	2024年12月16日	2025年1月15日	2025年2月17日	2025年3月17日
純 資 産 総 額	14,722,042,163円	15,057,660,421円	14,695,821,707円	14,714,825,300円	14,360,909,880円	14,059,201,836円
受 益 権 総 口 数	16,613,201,236口	16,482,163,598口	16,353,243,603口	16,256,757,873口	16,147,568,736口	16,034,883,006口
1万円当たり基準価額	8,862円	9,136円	8,986円	9,052円	8,894円	8,768円

(注) 当作成期間(第270期～第275期)中における追加設定元本額は36,487,823円、同解約元本額は678,912,695円です。

組入上位ファンドの概要

フランクリン・テンプルトン 米国政府証券マザーファンド (2024年3月16日~2025年3月17日)

○基準価額の推移



○1万口当たりの費用明細

(2024年3月16日~2025年3月17日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) その他費用 (保管費用)	0 (0)	0.001 (0.001)
合計	0	0.001

期中の平均基準価額は、21,271円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

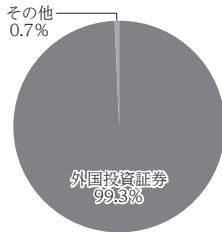
○組入上位ファンド

(2025年3月17日現在)

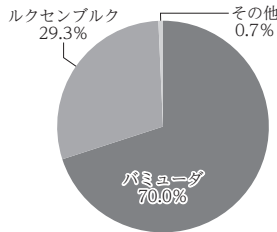
銘柄名	第23期末
	%
フランクリン・テンプルトン U.S.ガバメント・セキュリティーズII・ファンド	70.0
フランクリン・テンプルトン・インベストメント・ファンズーフランクリン U.S.ガバメント・ファンド	29.3
組入銘柄数	2銘柄

(注) 組入比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

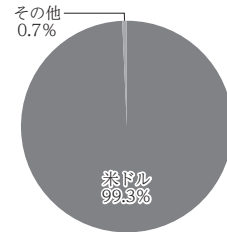
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分

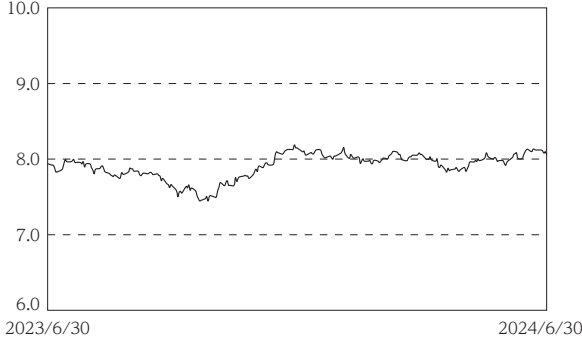


(注) 比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
 (注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。
 ※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

<ご参考> フランクリン・テンプルトン・インベストメント・ファンズーフランクリン U.S.ガバメント・ファンド
(2023年7月1日～2024年6月30日)

○基準価額の推移

(米ドル)



(注) 当ファンドが投資対象とするClass I (Mdis) USDの分配金再投資基準価額です。

○費用の明細

(2023年7月1日～2024年6月30日)

運用報酬	0.40%
管理会社報酬、保管銀行報酬、監査費用等	0.19%
合計	0.59%

(注) 当ファンドが投資対象とするClass I (Mdis) USDの数値です。
(注) 1万口当たりの費用明細に代えて、当期間における各費用の平均純資産総額に対する比率を記載したものです。

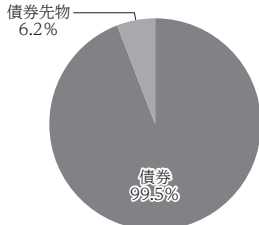
○上位10銘柄

(2024年6月30日現在)

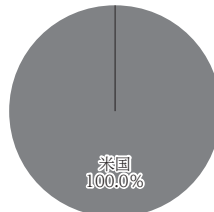
銘柄名	比率
GNMA MA4719 3.5% 09/20/2047	5.5%
GNMA MA7534 2.5% 08/20/2051	4.2%
FHLB 0% 07/01/2024	4.2%
GNMA MA6709 2.5% 06/20/2050	3.6%
GNMA MA7533 2% 08/20/2051	3.5%
GNMA MA7649 2.5% 10/20/2051	3.2%
GNMA MA9541 5.5% 03/20/2054	3.1%
GNMA MA7590 3% 09/20/2051	2.8%
GNMA MA7936 2.5% 03/20/2052	2.7%
US 5 Year Note, 09/30/2024	2.5%
組入銘柄数	574銘柄

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
(注) 全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。
(注) 組入上位銘柄および銘柄数は、当該投資対象ファンドの入手可能な Audited Annual Report を基に作成しております。
(注) 組入銘柄数には先物を含みます。

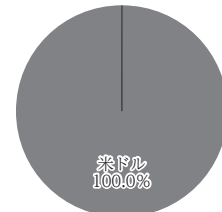
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分

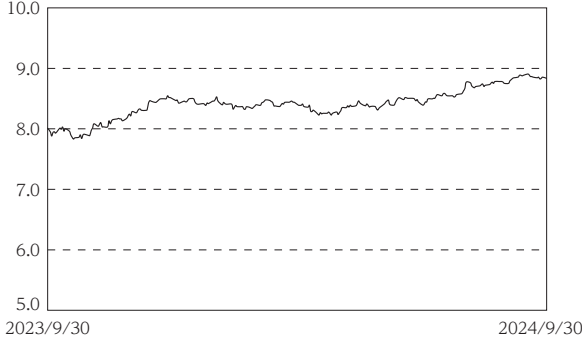


(注) 資産別・国別・通貨別配分のデータは2024年6月30日現在のものです。
(注) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
(注) 先物の比率は絶対値ベースで記載しております。

<ご参考> フランクリン・テンプルトン U.S.ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンド
(2023年10月1日～2024年9月30日)

○基準価額の推移

(米ドル)



(注) 分配金再投資基準価額です。

○上位10銘柄

(2024年9月30日現在)

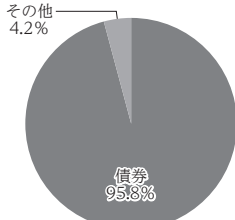
銘柄名	比率
	%
GNMA II, Single-family, 30 Year, 2.5%, 1/20/52	7.0
GNMA II, Single-family, 30 Year, 3%, 10/20/51	4.0
GNMA II, Single-family, 30 Year, 3.5%, 9/20/47	3.8
GNMA II, Single-family, 30 Year, 3.5%, 11/20/47	3.4
GNMA II, Single-family, 30 Year, 2%, 8/20/51	3.3
GNMA II, Single-family, 30 Year, 2.5%, 7/20/51	3.2
GNMA I, Single-family, 30 Year, 5.5%, 1/15/32 - 6/15/34	2.8
GNMA II, Single-family, 30 Year, 2.5%, 10/20/51	2.7
GNMA II, Single-family, 30 Year, 5.5%, 9/20/54	2.6
GNMA II, Single-family, 30 Year, 5%, 9/20/54	2.6
組入銘柄数	86銘柄

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

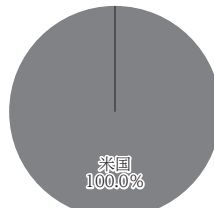
(注) 全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 組入上位銘柄および銘柄数は、当該投資対象ファンドの入手可能な Financial Statements を基に作成しており、クーポンや償還日によって集約されているものがあります。

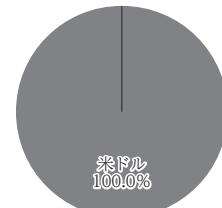
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分のデータは2024年9月30日現在のものです。

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

○費用の明細

(2023年10月1日～2024年9月30日)

運用報酬	0.40%
管理会社報酬、保管銀行報酬、監査費用等	0.33%
合計	0.73%

(注) 1万口当たりの費用明細に代えて、当期間における各費用の平均純資産総額に対する比率を記載したものです。



FRANKLIN TEMPLETON

フランクリン・テンプレトンは、創業以来
ベンジャミン・フランクリンの肖像画をロゴマークとしております。
創業者ルーパート・H・ジョンソン Sr. は、
“With money and financial planning, prudence comes first.”
(お金を増やそうとするときに一番大切なのは、用心深さである。)
というベンジャミン・フランクリンのビジネス哲学に深く感銘し、
アメリカ建国の父でもあり、偉大な科学者、
そして優れた投資家でもあった彼の名を社名に冠しました。
ベンジャミン・フランクリンの肖像画を用いたロゴマークは、
ご投資家の皆様にとって、
フランクリン・テンプレトンの資産運用サービスに対する
信頼と安心の象徴となっております。